

竹内つねお後援会

## 持続可能な美浜町を構想する会 会報 創刊号



竹内つねお

### 今こそ、大転換！

### 沈みゆく美浜町の再生と発展！

つねおさんの「持続可能な美浜構想 ver.1」

日本は 1990 年代初頭から「失われた〇〇年」が継続しており、所得格差、地域格差、人口減少も進行しています。また、子ども、女性、高齢者などだけでなく、自然災害の被害を受けやすい地域に住む人々、「買い物難民」、物価高騰の直撃を受ける家庭など社会的・経済的弱者の範囲は広がっています。こうした状況は、美浜町においてはより一層厳しいものがあります。特に、美浜町の地域経済は著しく疲弊、衰退

しています。例えば、身近な問題として、コンビニすらない地区が多くあります。東部地区では、同級会を開催できる会場も消失しました。

まさに、「沈みゆく美浜町」です。

こうした状況を打開するためには、

第1に、広がりつつある社会的・経済的弱者に手を差し伸べることです。「町民誰ひとり 取り残されない」

第2に、人と投資の呼び込みや資金還流・域内循環で地域経済を再生させ、発展させることです。

そのうえで、

第3に、国連機関を誘致して、美浜町の再生・発展の様子を「持続可能な地域開発の世界的モデル」として発信することです。

### 1 町民 誰ひとり 取り残しません！

**構想①すべての世代、すべての生業(なりわい。家業、職業)が希望を持てる「まち」を目指す！**

■高齢者、障害のある人、子どもなどの分野を超えて取組を一体的に行う重層的支援体制、医療・介護・予防・生活支援・住まいを一体的に提供する地域包括ケアシステム、中小・小規模企業の持続的な発展と生産性の向上、農林水産物の高付加価値化やブランド力強化・地産地消の推進などの「誰ひとり 取り残さない」ための取組を強化します。

■本構想全体の実現のためにも、町職員には「前例型」から「提案型」に転換しても



# つねおさんの「持続可能な美浜構想 ver.1」

構想①すべての世代、すべての生業（なりわい。家業・職業）が希望を持てる「まち」

構想⑤「森林環境譲与税」による竹林利活用事業の創設

構想⑦鵜の池・オレンジラインコース

構想⑤美浜の里構想

構想⑦東海岸活性化構想

構想⑦西海岸活性化構想

奥田・野間・小野浦海岸

構想⑥運動公園利用活性化

構想⑦河和駅東国道渋滞対策・まちづくり一体整備

布土～矢梨海岸

構想⑤マグネティクス版シリコンバレー構想

構想⑦河和南部活性化構想

構想⑤美浜の里構想



構想③「美浜自然の家」に国連地域開発センター（UNCRD）内外からの研修生でにぎわい増進 町民の国際交流促進

構想②光熱費騰対策、⑤資金還流・域内循環  
光熱費の比率が高い世帯の光熱費（県内年平均30万円）を大幅軽減。CO2削減。資金域内循環

構想③進行する地球温暖化の影響・被害にも対応！

沈みゆく美浜町の再生・発展



らいます。美浜出身の他業種経験者を積極登用します。

**構想②家計を直撃する光熱費の高騰に挑戦。CO2削減にも！**

■高騰している光熱費は、今後、ますますの値上がが予想されます。家計を直撃する光熱費の高騰に全国の自治体で初めて挑戦します！

■家計支出に占める光熱費の比率が高い町内の約半数の世帯に、住宅用太陽光パネル・蓄電池を無償貸与します。パネル設置が困難な世帯には、町の太陽光発電から電気供給（「オフサイトPPA」）します。

■これによって、貸与などの対象世帯の光熱費（県内年平均 30 万円）は大幅に軽減されます。

■さらに、これにより、美浜町内から排出される CO2 排出量（12.4 万トン（2020 年））は約 10%削減されます。

■無償貸付や町の太陽光発電に要する経費は、全額、①町外の事業者が町内に設置した大型太陽光発電に発電量に応じて課す法定外目的税の税込、②国の脱炭素交付金、によってまかさないです。①の条例の制定（全国初）と②の獲得に挑戦します。

### 構想④進行する地球温暖化の影響・被害にも対処！

地球温暖化による影響・被害は遠い将来のことではなく、既にいろいろな面で始まっています。町民のくらしや生業（なりわい）を地球温暖化の影響から護るため、国・県と連携して、町内の農業、漁業、観光、熱中症などへの影響・被害を予測・評価し、対応します。

## 2. 人と投資の呼び込み、資金還流・域内循環で美浜を再生し、発展させます！

### 構想④美浜町出身者Uターン大作戦、都会若者・退職者の移住促進。

■Uターン（私もUターン組）を促進するため、住宅（空き家など）の改修、雇用の斡旋（役場職員にも）などに取り組みます。

■都会に住む若者や退職者が美浜町に移住

し、美浜町ならではの農業、漁業、コミュニティ活動、大学での学び直しなどをしながら、人生をエンジョイできる環境を整備します。

### 構想⑤投資の呼び込み、資金還流・域内循環。

■「美浜の里構想」を推進します。

■「マグネティクス版シリコンバレー構想」（マグネティクス技術（超高性能磁気センサー、医療用磁石など）を開発する企業的美浜集結構想）の支援など企業誘致を推進します。

■「森林環境譲与税」を活用した竹林利活用事業を創設します。

■光熱費還流・域内循環戦略：構想②によって町外に流出していた電気代などの光熱費（年間 27 億円）の一部が還流し、町内に残った額の 8 割が域内循環するとした場合、町内消費額は年々拡大し、10 年目には 10 億円の増加、10 年間の累積では 40 億円の増加となります。

■地元企業の事業拡大を支援します。

### 構想⑥運動公園の利用の活性化など

■整備中の運動公園については、大学との連携により、町内外から多くの学生、社会人、高齢者などが利用し、また、美浜に滞在してもらえるようにします。

■財政面の制約などを考慮し、段階的な一貫校化など、町民、学区民の多様な意見を聴きながら、児童・生徒の教育環境を整備します。

### 構想⑦地域特性を活かす地域活性化構想の工程表(ロードマップ)づくり

■東海岸活性化構想（布土 15 号地、時志・北方のリゾート、河和マリンタウン、矢梨海岸）

■西海岸活性化構想（ビーチランド、亀の

井ホテル知多美浜、リゾート・マリンスポーツ、灯台)

■河和南部活性化構想 (マグネデザイン研究所、ナチュラル村)

■河和駅東交差点渋滞対策事業と駅から河和港までの間のまちづくりの一体整備 等

### 3. 国連機関を誘致し、持続可能な地域開発の世界的拠点に！！

#### 構想⑧「美浜自然の家」に国連地域開発センター(UNCRD)

国連地域開発センター (UNCRD) を誘致し、大学などと連携して、美浜町の再生・発展の様子を「持続可能な地域開発の世界的モデル」として発信します。内外から研修生が集まり、にぎわいある街になり、美浜町に国連の旗が立ち、町民の国際交流も進みます。

#### 竹内つねお プロフィール

◆1954年2月18日旧河和町北方生まれ。

◆河和小学校入学・河和中学校卒業、半田高校卒業、名古屋大学経済学部卒業。

◆1977年4月～2006年3月 環境庁・環境省(地球温暖化対策課長など)

1981-83ドイツ留学、1985-87通産省出向。エコマーク・エコアクション21・こどもエコクラブなどの導入。1990年初めてのCO2削減目標・行動計画策定。2002年大木浩環境大臣(衆愛知8区)を支え京都議定書批准。2003年初めての「循環型社会基本計画」策定。など

◆2006年4月～2019年3月 名古屋大学大学院・教授。2019年4月1日 名誉教授。「脱炭素・資源循環型」地域づくり。中部サステナ政策塾顧問・愛知学長懇話会 SDGs 企画委員長などとして SDGs 人づくり。「世界気候エネルギー首長誓約」日本事務局長。など

◆2022年4月北方区長(2023年3月まで)

私たちも応援します！！(50音順、敬称略)

石田芳弘(元犬山市長)、稲垣隆司(元愛知県副知事)、小野川和延(元国連地域開発センター所長)、北川正恭(元三重県知事)、近藤元博(元トヨタ自動車総合企画部長)、佐藤正典(元水産庁長官)、中村利雄(イベント学会会長(元愛知万博事務総長))、萩原喜之(元中部リサイクル運動市民の会代表理事)、平沼辰雄(元中小企業家同友会全国協議会地球環境委員長)、広中和歌子(元国務大臣・環境庁長官)、広中平祐(数学者)、藤沢寿朗(元INAX取締役)

つねおさんの「持続可能な美浜構想 ver.1」について、ご提案、ご意見をお寄せください。

#### 発行:持続可能な美浜町を構想する会

470-2403 知多郡美浜町北方宮東 75

電話/fax 0569-82-0337

E-mail  
tsuneo.kouenkai@gmail.com

ホームページ <http://t-tsuneo.jp>  
(入会申込、提案・意見できます。)



入会申込  
提案・意見